

## 令和6年度

### 教育みらい夢基金を活用した主な取組み

#### 郷土博物館 子ども達の本市の歴史への興味・関心を高める目玉展示の設置など

展示リニューアルの一環として、在来馬の等身大復元模型と3つの時期の学校給食の模型を製作しました。展示資料の充実として展示リニューアルの効果を高めるだけでなく、在来馬模型は実際に子どもが乗馬することが可能であること、給食模型は献立の変化を通じて、子ども達が歴史の見かたを学べるなど、歴史に触れ郷土史への興味関心の深化を促すうえで非常に有益なツールとなりました。

(職員の声)

- ・リニューアルのコアターゲットである子ども達が楽しめる展示の充実を図ることができました。
- ・馬模型への乗馬体験を既存の甲冑試着体験とコラボレーションさせるなど、館の活動の充実を図ることができます。

在来馬模型



## 学校給食模型



## 特別支援学校教育活動推進事業

作業学習で製作している各種製品・生産物等の原材料（消耗品）を購入しました。生徒たちは、販売会やお客様とのやり取りを通して、作業学習の取組をアピールしたりお客様のニーズを直接お聞きしたりすることができ、作業学習に対する意欲の向上につながりました。

（利用者の声）

- ・たくさんのお客様が来てくださったことや、一生懸命作った製品が完売したことが嬉しかった。（生徒）
- ・多数の来客に対応できるよう、会場の配置や導線を検討していきたい。（職員）
- ・接客も丁寧で、作業製品もすばらしい仕上がりでした。（来校者）



## 理科教育推進事業

科学部活動の活性化や学校における理科の授業の充実のため、実験器具（備品・消耗品）を購入し、学校への貸出事業を継続して実施しました。また、学校への貸出しだけでなく、科学館にも貸出を行い、各種講座でも活用しました。

（利用者の声）

- ・顕微鏡収納庫を実験教室に設置することで、講座開催の際に、すぐに出せる・しまえるようになり、顕微鏡の使い勝手が良くなりました。講座開催準備時間の短縮につながる、子ども自身が収納庫にしまうことで取り扱い方も学べる、格納場所にも困ることがなくなるなどメリットが多く生まれました。
- ・プログラミングロボ教材の数量の拡充によって、ペアやグループでの操作だけでなく、1人1台個別で操作できるようになり、授業・講座形態の選択肢が広がりました。
- ・脈拍系やスピードガンを使用することにより結果が数値で表され、体感的な気付きと定量的な理解が結びつき、学びを深めることができました。



光学顕微鏡で観察をする様子



プログラミングロボ教材を使用する様子

～この他にも、様々な事業で活用しました～

子ども交流館管理運営事業（スポーツ用姿見（鏡）の購入）



プレーパーク運営事業（消耗品購入）



## フリースクールとの連携事業（図書購入）



## 図書館の児童書購入事業



## その他

- ・ 学校安全事業
- ・ 音楽教育センター事業
- ・ こころの劇場（芸術鑑賞）
- ・ 養護教育センターで使用する知育玩具等の購入
- ・ こどものまち CBT 事業
- ・ 青少年サポート事業
- ・ 児童相談所で使用する運動器具等の購入 など